

【 16年度 報告書 概要 】

バランスシート

平成16年度の資産合計は前年度と比較して、流動資産の減少の影響が大きく、約25億5千万円の減となり、約1,805億1千万円となりました。

資産の部では、有形固定資産が前年度比で約5億9千万円(0.4%)減少しました。16年度の主な建設事業には(仮)市営大蛇住宅整備事業や市民体育館施設整備事業等がありましたが、15年度には白銀小学校建設事業や都市下水路改修事業等の大規模事業が行われていたため、16年度は普通建設事業費が約11億円(18.5%)減少しました。このため、資産の増加を過去に建設した施設の減価償却費が上回ったことにより、有形固定資産が減少しています。

流動資産では、財政調整基金や繰越金が減少し、現金・預金で約17億5千万円の減となり、未収金についても、市税の滞納繰越分の減少等により3億3千万円の減となったため、流動資産合計では約20億8千万円の減となっています。

一方、負債の部は、負債合計が前年度比で約5億7千万円の増となっています。これは、16年度の市債発行額は、前年度より約8億2千万円減少しているものの、建設事業に伴う借入や臨時財政対策債等約40億円の借入があったため、16年度借入額が元金償還額を約3億4千万円上回ったことによるものです。

また、公共団体のバランスシートにおいて自己資金を意味する正味資産については、資産の減少と負債の増加により、前年比で約31億2千万円(2.4%)の減となっています。

佐倉市全体のバランスシート

14年度決算分から普通会計に加えて、各特別会計を含めた佐倉市全体のバランスシートを並記方式で作成しています。

対象とする会計は「普通会計」「水道事業会計」「下水道事業特別会計」「農業集落排水事業特別会計」「国民健康保険特別会計」「交通災害共済事業特別会計」「老人保健特別会計」「介護保険特別会計」です。

普通会計と特別会計を含めた佐倉市全体の資産合計は約2,315億円になりました。

行政コスト計算書

行政コスト計算書は、地方公共団体の行政活動の中で人的サービスや給付サービスなど資産形成につながらない経費を行政目的別に集約したものです。

平成16年度の行政コストの総額は、前年度と比較して約1億4千万円の増となり約366億6千万円となりました。

これを目的別に見ますと、昨年同様に高齢者や障害者、児童福祉や生活保護などに係わる民生費コストが約9億2千万円と最も高くなっています。次いで社会教育施設の管理運営や学校給食委託などの物件費に多くの費用が費やされた教育費に約6億5千万円のコストがかかっていることがわかりました。民生費は国や県からの支出金も多く、市の一般財源の負担という観点から見ると、教育費が約6億2千万円で最も多くなっています。

また、性質別にコストを見てみますと、普通建設事業（他団体への補助金等）で3億4千万円、公債費（利子分）で約1億3千万円の減少となりましたが、退職給与引当金繰入等が増加したことにより人件費が約2億4千万円の増、扶助費が約4億6千万円の増となっています。